

# 105-278

## 問題文

5歳女児。熱や咳の症状があり母親に連れられて受診し、下記内容の処方箋を持って来局した。

母親との会話において、子どもは以前にも散剤や顆粒剤を服用したことがあり、問題なく飲めたとのことであった。また、母親が右手に包帯をしており、物を取扱いにくいいため、一包にまとめて欲しいと医師に申し入れ済みとのことであった。

(処方)

アスペリン®散 10% 1回 0.1 g (1日 0.3 g)

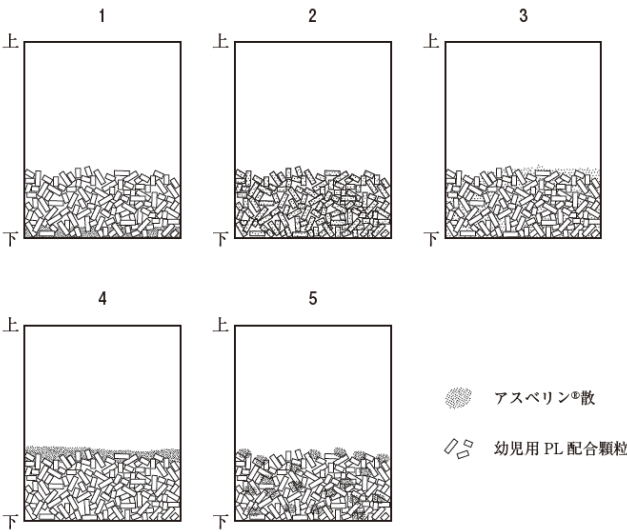
幼児用PL 配合顆粒 1回 2 g (1日 6 g)

以上、混合

1日3回 朝昼夕食後 5日分

## 問278

薬剤師はこの処方の調剤方法を検討するため、アスペリン® 散と幼児用PL配合顆粒の処方量を十分に振とう混合してみた。このときの状態を模式的に表す図として、最も適切なのはどれか。1つ選べ。



## 問279

前問での検討結果を踏まえて、この患者に対する最も適切な調剤方法はどれか。1つ選べ。

1. 両剤を計量し、乳鉢にて、乳棒で混和し分包した。
2. アスペリン® 散を乳糖で賦形したものと幼児用PL配合顆粒を、2段分割(2度撒き)で分包した。
3. 両剤を計量し、乳鉢にて、スパーテルで混和し分包した。
4. 幼児用PL配合顆粒を調剤用ミルで粉碎してから、アスペリン® 散と乳棒・乳鉢にて混和し分包した。
5. アスペリン® 散を乳糖で賦形したものをふるいで篩過してから、幼児用PL配合顆粒と乳棒・乳鉢にて混和し分包した。

## 解答

問278 : 1問279 : 2

## 解説

### 問278

粒子径が相当違うため、均等に混和しません。また、粒子径が小さいアスベリン散の方が下に溜まります。

以上より、正解は 1 です。

### 問279

「混和し分包」となっている選択肢 1,3,4,5 は誤りと判断できます。

以上より、正解は 2 です。